

多肉植物の栽培にチャレンジ

虹の家

虹の家では今春より農芸作業の一環として、多肉植物の栽培を行なっています。多肉植物とは主に葉や茎、または根の内部に水を貯蔵している植物をまとめてそう呼ばれています。

「いろいろな農作業に取り組もう」ということで、「葉挿し」という方法での栽培に取り組んでいます。葉の中に生長点を持っている為、葉の一枚からでも新しい個体を再生する事が出来ます。

ご利用者は一枚一枚の葉を大事に植えていきますが本当に成長するのか頭の上に“？”を並べているようです。最初は土の上に置いておきますが芽が出るとピンセットを使って優しく土を被せ、水やりは霧吹きを使います。いつもと違った育て方に戸惑いながらも成長を楽しみに栽培にチャレンジしています。



柴胡の花 開花間近！

柴胡苑

柴胡苑のある地域は昔「柴胡が原」と呼ばれており、小さな黄色い柴胡の花がたくさん咲いていたそうです。しかし今や絶滅危惧種となり、その姿を見かけることは無くなっています。

そんな中昨年、柴胡苑ではこのお花をご寄付頂き綺麗な“三島柴胡”が咲きましたが今年になり残り一株となってしまったので仲間を増やすことにしました。柴胡の花は手入れが難しいと言われています。日当たりの良い所、肥沃で耕作深度がやや深いところ、水はけが良く保水力のある土地などが栽培適地だそうです。今現在、背丈も高く順調に育っています。たくさんのお花が咲くことを楽しみに愛情を持って育てています。



職員コラム

Part: 113 柴胡苑 介護職員 鈴木智美

今年で入社してから2年目になりました。私の趣味は食べ歩きで、しかもB級グルメ専門です。「東京の牛串」「八王子のスタミナ丼」等テレビで紹介された店等にドライブを兼ねて行き、時には行列に並んだりもします。

私は1年半前に名古屋から引っ越してきた為、食の文化の違いに驚きながら新しい発見を日々楽しんでいきます。名古屋名物が食事として出た時は嬉しく、ご利用者に私が作ったわけでもないのに自慢してしまいます。食を通してご利用者に楽しんで頂けるように頑張っていきます。



寄付・寄贈（敬称略・順不同）

- 【寄付】猿谷 眞啓
- 【寄贈】西 安起子 金銅 幸俊 相原 りか
- 高橋 恵子 小川 久美子
- 松本 勇市（援農さがみはら）
- 坂田 亮一（麻布大学獣医学部動物応用科学科）

紙面上からではございますが厚く御礼申し上げます。

赤い羽根共同募金様からの助成

赤い羽根共同募金様からの助成を頂き照手は車両を、ケアホームⅡは電動自転車を購入しました。厚く御礼申し上げます。



▼第392号の全ての文責等は、『福祉村だより』編集委員に属します。

福祉村だより

題字 相模福祉村代表：赤間 一之

8月号No. 392



2017年8月1日発行



暑い夏に最高！流しそうめん。

～みんなと一緒に賑張りながら食べれば、お腹も心も満たされます。～

縁JOY & KID'S+保育園

発行人

相模福祉村理事長 赤間 源太郎

住所 相模原市中央区田名6769

E-mailアドレス sagamifukusimura@tanpoponoie.or.jp

ホームページアドレス http://www.fukusimura.or.jp

発行所 相模福祉村たんぽぽの家

電話 042-761-7788 FAX 042-763-3318



ホームページQRコード



田名地区内社会福祉法人との情報交換会

福祉村

7月21日（金）に田名まちづくりセンター会議室で田名地区社会福祉協議会主催の「田名地区内社会福祉法人との情報交換会」が行われました。田名地区社協と地域内の福祉施設が協力し、安心した生活が送れるように今後連携を図る事が目的でした。相模福祉村からは特別養護老人ホーム縁JOY・柴胡苑、障がい者支援施設たんぼぼの家、児童発達支援センター青い鳥が出席しました。他法人からは高齢者施設の方、保育園、障がい者日中サービス事業所など様々な施設が出席されていました。地区社会福祉協議会や民生委員の方々に様々な相談が寄せられるとの事です。相模福祉村としても様々な資源を活用し地域の方が長く安心して生活できるよう協力していきます。



盛大に開催！夏祭り

たんぼぼの家

7月15日（土）たんぼぼの家で夏祭りを開催いたしました。暑い中にも関わらず来場者は昨年度よりも多く総勢800名程度となり大いに盛り上がりました。

開催前に地域の方に向けたチラシ配りをしていると、「今年もやるんですね、楽しみにしています。」と励みになる言葉を頂き、地域の方々に楽しんで頂けるよう改めて頑張ろうと思いました。

たんぼぼの家の夏祭りは毎年多くのボランティアの方にご協力頂き、開催させて頂いております。地域のボランティアセンターの方、法人内の職員、地域の踊り手の方々など多くの方に支えて頂いております。たこ焼きや焼きそば等の模擬店、射的、輪投げなどのゲームコーナーなど各テントに多くのボランティアの方に入っていただく事で楽しいひと時を提供する事が出来、共に夏祭りを盛り上げて頂きました。地域の支えあつてのたんぼぼの家であることを、夏祭りを通して改めて感じさせて頂きました。

今年ボランティアにご参加頂いた地域の方々は総勢31名でした。暑い中、本当にありがとうございました。書面上からではありませんが、厚く御礼申し上げます。

また7月22日には姉妹施設「虹の家・相模はやぶさ学園 夏まつり」も開催いたしました。たんぼぼの家同様多くのボランティアの方の協力のもと無事終わる事が出来ました。改めて感謝申し上げます。



夏の登山！ ～高尾山へ～

縁JOY

7月下旬、いよいよ夏も本番になり山登りのシーズンです。ご利用者の一人も以前から希望されていた高尾山への登山を楽しまれてきました。当日は快晴で絶好の外日、しっかりと帽子を被り熱中症対策も万全です。思い出に残すカメラも持っていざ出発。高尾山に着いたらゆるやかな山道を進みケーブルカーから景色を見て、山内の寺院・薬王院へのお参りもされ高尾山中を満喫されました。最後は高尾山名物のお蕎麦を食べ「すごく楽しかったよ」と充実した一日を過ごされました。

途中で休憩をとりながらも自分の足で目的地まで登っています。次は山頂を目指したいと新たな目標を立て楽しみにされています。



親子で作る“オリジナル入浴剤”

アロマ講座

7月13日（木）に子育て広場事業の一つである育児講座を開催し、親子で簡単にできる入浴剤作りをしました。講師は卒園児保護者でもある鶴若博子さんをお願いしました。重曹、片栗粉、クエン酸、謎のカプセル、香りづけのアロマオイルに少量の水を加えて、混ぜて固めて・・・「こんなに簡単に作れるんだね」等、参加者同士会話をする様子も見られました。講師から入浴剤の中に入れるアロマオイルの効能について教えてもらうと、保護者の方も驚いたりメモを取ったりして関心を寄せていました。丸く固めた入浴剤をラップで包み、手作りシールを貼ってオリジナルの入浴剤が完成！！作りながら子育ての話や親同士の会話もあり、交流を図ることができました。今後も地域の親子がほっとできる場を提供したり、育児の楽しさやヒントを得ることができる育児講座を企画していきたいと思います。余談ですが、家に帰って手作り入浴剤をお風呂に入れたら・・・イルカや魚、恐竜が出てきてビックリ！謎のカプセルは水に入れると形が変わるおもちゃでした。



星に願いを ～七夕～

相模はやぶさ学園

相模はやぶさ学園では、今年も七夕にあわせて子どもたちと一緒に笹の葉に願いを込めた短冊を飾りました。子どもたちの短冊には「お花屋さんになりたい」や「立派な大人になりたい」などといった願い事がありました。

7月7日（金）の七夕当日には、七夕の由来について職員が織姫と彦星と神様の役になりきり劇を行ないました。なりきった姿と内容に子どもたちも大盛り上がり！！「また、観たい」「面白かった」という声がたくさん聞かれました。

また夕食ではちらし寿司や天の川をイメージしたそうめん、星形のゼリーなど観て楽しめる食事を味わい、食べ終わった後にはお腹をさすりながら満足そうな笑顔を浮かべていました。

子どもたち一人ひとりの願い事が叶うように寄り添った支援を続けていき、今後も子どもたちが楽しめるような様々な行事を企画します。

